



徳島県看護連盟だより 創立60周年記念特別号

第31号 令和2年8月20日

徳島県看護連盟

〒770-0801

徳島市上助任町三本松375-5

青藍コーポ301号室

TEL 088-634-3297

FAX 088-634-3298

編集責任者 小島 泰代

印刷 徳島県教育印刷株



No. 7 阿波の土柱



悠久の時の流れが生み出した「阿波の土柱」は、アメリカロッキー山脈、イタリア南ティロル地方と合わせ、世界三大土柱と呼ばれる奇観で国の天然記念物です。

北の阿讃山脈より流れ出た土砂が吉野川の川底に堆積してできた土地が、地震活動により隆起、風雨の侵蝕によって直立した砂礫層が土の柱となっていくつも並び、土壁がカーテンのひだのように連なって見える様は、雄大な自然の芸術です。遊歩道から展望台へと、四季折々の何気ない草木に目をやり、野鳥のさえずりを聞きながら、上から下からと様々な角度から違った景色が眺められます。

目次

ご挨拶	2	2020年度役員・支部長ご挨拶.....	11
創立60周年記念特別号発行ご祝辞	3	シリーズ 私の自慢	16
2020年春の叙勲 会員受章.....	7	支部のリレートーク.....	17
2020年度徳島県看護連盟通常総会.....	8	連盟からのお知らせ	18
2020年度徳島県看護連盟活動計画.....	9		

ご挨拶



徳島県看護連盟
会長
小島 泰代

毎年のように日本のどこかで豪雨災害が発生しています。今年も九州豪雨、そして山形、秋田での川の氾濫と続いてしまいました。

更に、今年は新型コロナウイルス感染のリスクを抱える中での被災となり、2重に苦しみを受けられた被災者の方々のご心痛は如何ばかりかと心が痛みます。心よりお見舞いを申し上げます。

さて、会員の皆様には、いつも連盟活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。ごぞいます。

徳島県看護連盟も創立60周年を迎えました。その間に看護職の労働環境は格段に良くなり、自らの知識や技術の向上に向けて教育・研修環境も整ってまいりました。これらの変化は、何もしないで自然に備わったものではありません。先輩諸氏の日々の研鑽は勿論ですが、現場の問題を解決するために、請願や陳情を繰り返し、政治力の必要性から看護連盟をつくり、代表議員を国政に送るために地道な連盟活動を継続することによって、ようやく勝ち取った環境です。そのたゆまぬご努力に改めて敬意と感謝を申し上げます。

看護連盟の活動は看護の未来のためになくてはならないということは、今までの看護情勢を振り返ると明白です。加速する長寿社会や少子化社会に向けて政策の場に現場の声を伝え、私どもが選んだ代表議員とともに、より良い看護政策の実現を目指して今年も会員の皆様と力を合わせて事業活動を続けていきたいと思います。

コロナ禍の中ではありますが、看護連盟の今年の最重要課題“会員確保”に向けて皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

奇しくも今年はナイチンゲール生誕200年です。コロナ問題を稀有な歴史的ミッションとして前向きに捉え、原点に戻って環境整備、感染防止等に想像力と創造力を働かせて難局を乗り越えていきましょう。

とはいえ今は、猛暑が続いた夏の疲れが出る頃です。心身ともに大きなストレスを抱えながら業務にあたり、国民・県民の命と健康を守る看護職にとって、まずはご自身の健康が第一です。

会員の皆様のご健康と更なるご活躍をお祈り申し上げます。



日本看護連盟
会長
大島 敏子様

徳島県看護連盟の皆さんこんにちは。

第25回参議院選挙では組織代表の石田まさひろ参議院議員が、二期目の当選を果たし力強い結果を残すことが出来ました。ひとえに皆様のお力と感謝しつつ、会員数だけの得票が得られないことに力不足を覚えております。

令和を迎えた日本看護連盟は、創立60周年となりました。先輩看護職が時間をかけて築いてきた職能活動は、24時間365日ベッドサイドで病める患者さんと共にありました。そして今は新たな感染症 COVID-19 と闘い、新たな生活の仕方を模索し、従来の看護のあり方を見直す時代になりました。これに挑む看護職の大変さを思い、危険手当の支給と二次補正予算に慰労金を組み込むなど、臨床と政策が可視化出来ました。

子年は、新しい生命力が想像される「子孫繁栄」をもたらします。人生100年時代の看護連盟は、会員を増やし、看護協会と共に国民の誰もが安心して暮らせる社会保障のあり方を構築し、看護職の地位向上をめざして更なる看護政策実現に邁進して参りましょう。

ご 祝 辞



公益社団法人
徳島県看護協会
会 長
稲井 芳枝 様

徳島県看護連盟創立60周年、誠におめでとうございます。また徳島県看護連盟だより第31号発刊ということで、徳島県看護連盟の歩みと活動にあらためて敬意を表しますとともに、看護協会として、また連盟会員の一人として、心よりお慶び申し上げます。

皆様ご承知のとおり看護連盟は看護協会目的達成のために、政治活動のできる団体として昭和34年10月に設立し、翌年6月に日本看護連盟徳島県支部が誕生いたしました。

その後、より確かな問題解決へと繋げるためには、どうしても看護職の代表を国政の場へ送らなければ、との声が高まり、昭和37年から林塩先生、石本茂先生と先駆者としてのご苦勞の中で素晴らしい足跡を残され、現在4名の国会議員が看護職の声を届けていただいています。

さて、今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、あらゆる看護の場において、日夜最前線で感染予防対策や看護ケアに従事されている看護職が注目されています。

一方、国民の感染の不安・恐れから生じる「誹謗中傷」を受けることもあり、看護職の精神的負担は計り知れません。

このような中、ナイチンゲール生誕200年を迎え、色あせることのない看護の原点、変わることのない看護の実践を再確認することができました。また、医療を取り巻く環境の変化や新しい生活様式の中で、看護の課題は変化し、新たな看護の役割が求められていると感じます。

徳島県看護協会も法人設立40周年の記念の年であります。大きな節目の年ととらえ、このような看護界の課題解決に向け、看護連盟と連携して活動を展開するとともに、その歴史をしっかりと繋いでいきたいと思えます。



全国知事会会長
徳島県知事
飯泉 嘉門 様

このたび、徳島県看護連盟が記念すべき創立60周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

徳島県看護連盟におかれましては、昭和35年の創立以来、時代に合った労働環境や看護教育の改善に取り組みられ、看護職の地位向上をはじめ、保健・医療・福祉サービスの発展に多大なご貢献をいただいております。これもひとえに、小島会長はじめ、歴代会長並びに会員の皆様の弛まぬ熱意とご努力の賜であり、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

現在、「新型コロナウイルス感染症」という未曾有の国難に直面する中、闘いの最前線である医療現場では、患者・利用者の皆様の命を守るため、看護の力が大いに発揮されております。

どうか、徳島県看護連盟の皆様には、このたびの佳節を契機に、ますます結束を固められ、この難局を共に乗り越えるため、なお一層のお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、徳島県看護連盟の更なる飛躍と、会員の皆様の今後ますますのご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



自由民主党
徳島県支部連合会
会長 衆議院議員
山口 俊一 様

徳島県看護連盟様の創立60周年を心よりお慶び申し上げます。

時代とともに刻々と変革する保健医療制度の中で看護職の専門技能研修、雇用、労働条件改善など重要必須の目的達成のため、昭和34年の設立以来、歴代会長様はじめ役員の皆様のご熱心な活動により看護連盟活動が定着してまいりました。

現在では貴連盟創立当時より約15年も日本人の平均寿命が伸び、介護保険制度の開始、地域包括ケアシステムの構築が進むなど看護師の皆様へ寄せられる期待と使命は増々高まってきております。またこの度の新型コロナウイルス禍における皆様のご労苦に対しまして深甚の感謝を申し上げる次第です。

国会で政治に携わる者としてこのような皆様のご努力と熱い気持ちを常に感じつつ県民、国民の健康福祉に関する政策立案、予算・法制度などの充実に努力して参ります。



衆議院議員
後藤田正純 様

徳島県看護連盟がこのたび60周年を迎えましたこと、心よりお慶び申し上げますとともに、長きにわたり看護職の地位向上、労働環境・教育等の改善に活躍されてこられたことに心から感謝いたします。

皆様のご尽力により、我が国では、国民皆保険制度を柱にして、フリーアクセスや安い医療費、高度な医療を通じ、世界最高レベルの平均寿命が実現しております。

特に、新型コロナウイルス感染症への不安が日本中を覆う中、看護職は、エッセンシャルワーカーの中心として、社会に欠かせぬ存在であること、そのありがたみが日本中に再認識されたものと考えています。

その活躍は、連盟の皆様方のたゆまぬ御尽力のたまものです。私としましても、看護職に携わる皆様への感謝の気持ちと共に、緊張感をもって新型コロナウイルス感染症の予防を万全にしている所存です。

徳島県看護連盟ならびに御関係の皆様のご益々の発展と御活躍を心から祈念し、あいさつに代えさせていただきます。



衆議院議員
福山 守 様

徳島県看護連盟様の創立60周年を心よりお祝い申し上げます。

徳島県看護連盟は、昭和35年6月に日本看護連盟徳島県支部として発足され、以来時代の変化に合った労働環境や看護教育の改善、関連する法律の制定や改正等に取り組んでこられました。また、平成17年には「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに日本看護連盟徳島県支部から徳島県看護連盟と名称変更されるとともに、平成23年には事務所を現在の場所に移され、積極的な活動を展開されております。創立60周年を迎えられた記念すべき本年、スローガンを「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」と新しくされたところであり、今後益々のご活躍をご期待申し上げます。

また、看護連盟の会員の皆様には、新型コロナウイルスによる感染症が全国的に拡散するなか、医療現場の最先端で働き、感染リスクを抱えながら地域の医療業務に日夜ご尽力なさっていることに敬意を表するとともに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。



参議院
財務金融委員長
参議院議員
中西 祐介 様

徳島県看護連盟創立60周年を心よりお祝い申し上げます。

また、皆様には徳島県の医療の充実・確保に多大のご尽力を頂いております事に厚くお礼申し上げます。

今年に入り、突如として新型コロナウイルス感染症が世界、そして日本を巻き込み、大変厳しい状況になっています。皆様が医療の最前線で、日々献身的に感染症と戦い続けて頂いていることにより、徳島県の医療は支えられているのでありまして心から深く感謝申し上げます。

さて、貴連盟は昭和35年6月に日本看護連盟徳島県支部として設立されて以来、60年の長きにわたり「看護は一つ」の旗の下に、看護制度改革と労働条件改善のため、強力に政治活動を推し進めてこられました。その結果、組織代表を国政に送られ、医療や看護関係の法律の制定や改正、また労働条件や看護教育の改善などに大きくご貢献されています。

結びとなりますが、皆様には、今後も日本そして徳島県の医療を守るためお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、徳島県看護連盟の更なるご発展をお祈り申し上げますとお祝いの言葉といたします。



参議院議員
三木 亨 様

徳島県看護連盟創立60周年をお祝い申し上げます。

また日頃より、小島会長をはじめ、会員の皆様から暖かいご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

今、日本は国難ともいふべきコロナ禍に見舞われておりますが、皆様には感染のリスクを負いながら、医療の最前線で日々ご尽力頂いておりますことに、心から敬意と感謝の意を表する次第でございます。

政府は、国民生活と経済・雇用を守るため、1次、2次合わせて一般会計規模で約58兆円、事業規模で約230兆円という過去最大の補正予算を組み、ご要望頂いております危険手当につきましても、医療従事者への慰労金としてお応えすることができました。治療薬やワクチンが実用化されるまで、コロナ禍との戦いは続きますが、全力で国民の皆様の不安払拭に取り組んでまいります。

徳島県看護連盟の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



参議院議員
高野光二郎 様

徳島県看護連盟創立60周年を心からお祝い申し上げます。

60年もの長きに渡り、県民の健康と福祉の増進に寄与されてこられました歴代の会長はじめ、会員の皆様のたゆまぬ御尽力に対しまして、深く敬意を表します。

記念すべき輝かしい年ではありますが、思いがけない新型コロナウイルス感染症の対応で大変な状況が続いております。

自らの感染リスクや差別、偏見に怯むことなく日夜、患者さんに寄り添い、県民の命と健康を守って頂いております皆様に、改めまして心から感謝申し上げます。

このような状況下で看護への期待と求められる役割は一層拡大しており、人材の確保や育成を進め、看護職が安心して活躍できる環境を整備していくことが急務となっております。

私も微力ではございますが、皆様の活動の一助となれますように誠心誠意努めてまいります所存でございます。

結びに、徳島県看護連盟の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、創立60周年のお祝いの言葉とさせていただきます。



衆議院議員
あべ 俊子 様

「国政活動報告」

先般の新型コロナウイルス感染症対策への皆さまのご尽力に、心より感謝申し上げます。

先般の状況から、新型コロナウイルス感染症へは長期的な対応が必要となって参りました。

これからも、看護職の皆さまには、現場や生活全般において大変なご苦勞・ご負担をおかけいたしますが、看護職支援の充実に、努めて参る所存です。

新型コロナウイルス感染症者の「いのち・くらし」を守るために、まずは、最前線にいる看護職を守る必要があります。第二次補正予算の編成時には、病院等、訪問看護ステーション、介護福祉施設等への防護具確保や、医療従事者への慰労金確保のため、関係各所との調整に奔走しました。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、医療現場、医療者の家族を守る支援策の実現に努力して参りますので、現場からの忌憚ないご意見をお願い申し上げます。

平穏な日々が戻りますよう、国政にて精一杯活動して参ります。引き続きご指導賜りますよう、よろしくお願いたします。



自民党
文部科学部会長
参議院議員
高階恵美子 様

徳島県看護連盟の創立60周年を心よりお慶び申し上げます。

創立時の先達は、医療施設の急増に労働環境の改善が追いつかず大変な労苦を伴う中で、互いに連携し看護政策の実現に尽力されました。私たちはその叡智を受け継ぎ、現下の新型コロナウイルス感染対策においても、国民のいのちと安寧を守るべく最前線で職務にあたっています。看護連盟の栄えある歴史を誇り、その信念を紡ぐ皆様に、改めて心から感謝し深く敬意を表します。

授かった命が健やかに迎えられ、人々が心豊かに暮らせる社会を実現するために、私たち看護職の知恵と経験はますます大きな役割を果たしていく時代となっています。看護連盟は、こうした尊い社会保障の実現者を守り支える力強い組織です。

私も国政で共に歩み10年。看護職のひときわ輝く笑顔を願って、これからも現場第一にがんばります。

皆様のご健勝とご多幸を、心よりご祈念申し上げます。



参議院議員
石田 昌宏 様

徳島県看護連盟60周年記念特別号が刊行されますことを、心からお慶び申し上げます。

貴連盟が設立された昭和35年、高度成長期に支えられ医療制度の充実が図られたことにより、急速に病床数が増加し深刻な看護師不足となり、全国で看護師のストライキが生じ大きな社会問題となっていました。戦後十数年を経て、日本の看護は大きな転機を迎えていました。

このような中、徳島県看護連盟を立ちあげ、徳島県民の健康を守りながら時代と共に変化する様々な課題を乗り越えて、時代を繋ぎ、看護の知恵と力を結集して今日まで活動を続けてこられた諸先輩方、そして会員の皆様に心から敬意を表します。

貴連盟のスローガン「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」を、私はいつも心に留めています。看護職の組織代表として、国政の場で活動するためには、皆様からいただく声が大きき力とり、実のある政策につながります。「いい看護ができた!」と徳島県看護連盟の皆様が実感できるよう、これからも活動を続けてまいります。

貴連盟の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍を心より祈念申し上げます。



衆議院議員
木村 弥生 様

徳島県看護連盟創立60周年を心よりお祝い申し上げます。

コロナ禍において、現場で医療崩壊を食い止め、頑張っておられます全ての看護職の仲間たちを誇りに思います。

自民党では、令和3年度の予算の柱となる「骨太方針」が示されました。感染症対策、自然災害対策が主流となりましたが、やはりこれからの医療の在り方、来春改定となる介護報酬等、尊厳とQOLをまもる、いわゆるウェルビーイングという視点を含めた議論を進めていきたいものです。地域保健機能の強化については、私が政務官でいるうちに土台作りをする所存です。

この夏は、熱中症対策と感染症対策を並行しなければなりません。with コロナ、after コロナの日本の看護・医療提供体制整備に向けて努力してまいります。コロナ禍を経てあぶり出されたさまざまな課題を改善し、日本の医療と看護職の皆さまの労働環境と健康を守れるよう頑張ります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



名誉会員
前徳島県看護連盟
会長
三国 鶴子 様

徳島県看護連盟だより、創立60周年記念特別号発刊にあたり、ご挨拶とお祝い申し上げます。

長年のご功績おめでとうございます。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

今は、世界的に新型コロナウイルスの感染拡大のため、現場でも大変ご苦労されていることでしょう。これからは、日常生活の様式を変化させ生活していかなければと、自分自身が感染しない、感染させない行動をすることが大事です。先の見えない状況ですが、早く終息することを願うばかりです。

看護連盟は4名の国会議員を国政にお送りして、それぞれにご活躍をいただいております。大変心強く思っております。看護職の代表を国政に送り続けるには、看護組織の充実強化、会員増に向けて、看護問題解決のため、会員一人一人の努力が必要かと思っております。会員の皆様には、夢や誇りをもって看護の力を発揮してご活躍されることを期待します。

最後に、徳島県看護連盟のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

令和2年度 春の叙勲

瑞宝双光章 受章 おめでとうございます！

元麻植協同病院看護部長 野口三恵子 様

2020年度 徳島県看護連盟通常総会が開催されました



令和2年6月27日(土)徳島県看護会館において、開催されました。今年はCOVID-19感染拡大予防のため、来賓のご臨席や特別講演を中止し、参加者についてもできる限り少人数で対応すべく会員には前もって書面で説明して委任状での参加をお願いし、役員9名、会員11名、委任状762名でした。日本看護連盟大島敏子会長・阿部俊子衆議院議員・高階恵美子参議院議員・石田昌宏参議院議員・木村弥生衆議院議員・後藤田正純衆議院議員・中西祐介参議院議員・三木亨参議院議員から頂戴したお祝いメッセージは、原文を提示させていただきました。

徳島市民病院の谷崎宏美様、JA徳島厚生連阿波病院の中山元己様が議長に選任されました。第1号議案の2019年度各種会議報告、活動報告、細則・組織図変更報告、第2号議案の決算報告、第3号議案の監査について報告があり、続いて第4号議案の2020年度活動計画案、第5号議案の予算案、第6号議案の役員改選について審議が行われ、すべての議案が可決され、議事を終えました。今年から、組織強化、教育、広報は担当を決めて対応することとなりました。細則・組織図の改正は、2020年度からOB部の活動を開始するので細則・組織図に追加されました。役員改選では、第2副会長岩本優子氏が希望退任され、川西誠子氏が就任、祖父江定子氏が幹事長を退任して監事に就任、幹事長に藤本由紀子氏が就任、財政部長木内和江氏は再任、監事の平野文子氏が任期満了で退任となりました。新旧役員挨拶のあと、日本看護連盟綱領を読み上げ、連盟歌で会員を送り出し、総会を終了しました。参加者の皆様にはスムーズな総会運営と、机やイス、ドアノブや窓の取っ手等の消毒や3密防止、換気等、感染予防へのご協力、ありがとうございました。

2020年度はWithコロナで、今後も計画の変更等もあるかと思いますが、共に頑張りましょう。

コロナ禍といわれていますが、禍福はあざなえる縄のごとしです！



ちよこっとクイズだよ〜!
わかるかな?

これ何の花?



今の季節に、花の下の丸いところを
葉味によく使うよ。

「たくさん食べると物忘れをする」
とされているよ。

わかるかな?

(答えは、最後のページ)

2020年度徳島県看護連盟活動計画

重点方針 見える活動、行動する会員、確かな組織づくり

(太字は新規項目)

	目 標	活 動	手 段
政策 実 現 力 の 強 化	1. 看護職 国会議員の支援を 強化する	1) 第26回参議院選挙における組 織内候補者の選定と選挙活動方 針の策定・活動の推進 2) 看護職国会議員の周知と支援強 化 3) 公職選挙法遵守の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 第26回参議院選挙組織内候補者決定後、選挙対 策会議を立ち上げる 選挙対策マニュアルを策定する マニュアルに沿って活動方針を決定し、計画立案 する 代表議員、日本看護連盟、県内各支部との連携を 密にする 看護職国会議員の名前や活動を周知させる(活動 報告・HP・各種グッズ等の活用) コンプライアンスに基づいた活動を実施する
	2. 県選出の国会議員・ 地方議員との連携 を強化する	1) 看護に理解のある議員の活動支 援 2) 議員との情報交換、連携強化 3) 会員が議員と接する機会を提供	<ul style="list-style-type: none"> 看護を支援する地方議員の選挙を応援する ナーシングナウキャンペーン看護の日記念事業の 一環として県議の看護現場視察を実施する 議員と意見交換会を持つ 現場の声や諸問題を集約し、政策提言・要望書を 提出する 県・支部で議員を含めた勉強会や施設視察会等を 開催する 関連議員主催の講演会等への参加や研修会の講 師を議員に依頼する
	3. 他関連団体との連 携強化を図る	1) 関連他団体への働きかけ 2) 賛助会員の確保推進	<ul style="list-style-type: none"> 関連他団体に看護職議員のPRや後援会活動を依 頼する 日本精神科看護協会・助産師会・支援団体や支援 企業・地域住民との交流の場を持つ
組 織 の 充 実 ・ 強 化	1. 会員数の増加を図 る	1) 県・支部の増員目標作成 2) 看護協会との連携強化 3) 入会継続の推進 4) 退会者の防止と再入会促進 5) 学生会員・賛助会員の入会推進 6) OB部の会員確保 7) 参加しやすい連盟活動の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 増員目標数として50名、賛助会員10名増員させる 看護協会との連携を密にし、協力体制(情報交換 の場・意見交換会他)を強化する 看護代表者への依頼(電話、施設訪問)を効果的に 実施して活動協力を得る 施設訪問による情報提供・情報交換・現場の声収 集の機会を多くする 退職者に特別会員の説明を行い、入会勧誘する 看護学校での看護と政治に関する講座実施を推進 する 学生にパンフレットや入会リーフレットを配布、ポ リナビ活動の見学を推進する OB部をPRして会員確保、活動の活性化を図る ニーズに合った親しみやすい活動を企画運営する
	2. 看護協会との更なる 連携強化を図る	1) 徳島県看護協会への働きかけと 情報の共有	<ul style="list-style-type: none"> 徳島県看護協会との意見交換会を最低年2回開催 する 協会役員の連盟入会率を向上させる 情報交換の場を多く持ち、協会役員や会員への情 報提供を推進する ブロック別協会連盟会長合同会議を開催し、連携 を深める 協会と連携した要望活動・陳情等をする 相互のイベントに相互が参加する機会を多く持つ

	目 標	活 動	手 段
組 織 の 充 実 ・ 強 化	3. 看護連盟活動の周知を図る	1) 効果的な情報発信・活発な情報交換 2) 効果的な連盟活動のPR 3) 連盟活動への参加推進	・ 機関誌アンフィニ、ミニアンフィニ、メールマガジン、ホームページ、連盟紹介ビデオ、会員ハンドブック、各種グッズを活用する ・ ホームページの内容更新・適時適正な情報発信をする ・ 県連盟だよりの内容を充実させる ・ 創立60周年記念として連盟だよりに特別号を発行する ・ 各研修会を充実させ、参加を促進する ・ 連盟役員やリーダーが日常の看護現場で連盟活動の成果を伝える
	4. 県・支部・会員の主体的活動を推進する	1) 県・各支部の目標の明確化 2) 本部・県・支部・施設・会員間の情報の共有化 3) リーダーの育成と実践力の強化 4) 看護管理者や看護教育者の政治参加促進 5) 会員の自立に向けた活動強化	・ 教育・広報・組織強化について役員・支部長間で担当を決めて主体的に活動する ・ 県・各支部の活動目標を具体的に設定し、評価する ・ 連盟本部－県連盟－各支部－会員の情報収集・発信を効果的に行う（会議・メール・文書・ホームページ他） ・ 県役員会・支部役員会へ相互参画し、必要な情報の収集発信を進める ・ 各施設各病棟にリーダーの配置呼びかけとリーダー研修への参加を促す ・ 看護代表者に看護政策セミナー等への参加を呼びかける ・ 役員会や研修に積極的に参加し、発言できるよう工夫する
	5. 支部組織を充実・強化させる	1) 支部支援体制の強化 2) 支部役員の役割・活動内容の周知徹底 3) 支部役員・リーダーの意識強化 4) 支部会員のモチベーション向上	・ 支部担当の役員を配置し、支援を強化する ・ リーダー研修・支部長研修等で役員の役割を周知徹底する ・ 各部署で役割を発揮できるリーダーを育成する ・ 連盟の役割と活動の意義を広め、会員の政治参画意識を向上させる ・ 連盟活動や研修に会員の声を反映させる
	6. 若手会員の育成に努める	1) 青年部の活性化と活動の充実・促進 2) 積極的に県・支部の役割依頼等活用促進 3) 看護代表者や施設長、看護教育者に協力を依頼 4) 学生への働きかけ	・ 青年部主催ポリナビワークショップを企画・開催する ・ 他県のポリナビワークショップに委員を参加させる ・ ブロック別青年部会議への参加推進（次年度徳島担当） ・ 各支部から青年部委員を出す ・ 県役員会に青年部委員長参加・総会その他の活動時の役割を依頼する ・ 学校・学生へのポリナビ参加案内をする
	7. 継続的な研修により連盟活動への理解を深める	1) 支部研修の充実 2) 支部役員等の研修の充実 3) OB研修会実施 4) 看護管理者・教育者対象リーダー研修実施 5) 看護協会、看護連盟合同研修会共催	・ 支部主催で開催（新人基礎研修、続基礎研修、 一般研修 ） ・ 県主催で開催（新役員支部長研修・リーダー研修（9月予定）OB研修（11月予定）リーダー研修（管理者・教育者対象2021年2月予定）） ・ 連盟協会共催で開催（2021年3月予定） ・ 他県の研修やイベントを参照し、良いアイデアを工夫する ・ 役員や支部長の強みを活用する

	目 標	活 動	手 段
組織の充実・強化	8. 施設・支部・県・ブロック・本部と連携した組織活動を推進する	1) 本部・ブロック・県・支部の連携強化 2) 会員への情報周知と活動への参加推進	<ul style="list-style-type: none"> 本部関連会議に参加する（総会・全国会長会） ブロック別会議、研修に参加する（会長会、会長・幹事長合同会議、ブロック看護管理者・教育者看護政策セミナー（11/30～12/1）、ポリナビ協議会） ブロック別選挙戦略会議の開催と参加 通常総会開催（6/27） 県役員会・支部長合同会議等開催（原則第1土） 各支部会議開催 本部への月次報告を行う
会員の福祉の充実	1. 事務局の運営を適正に行う	1) 適正な会員管理 2) 業務・財務の適正な執行管理	<ul style="list-style-type: none"> 会員管理システム・後援会システムの円滑な運営をする 政治資金規正法を遵守する 報告・連絡の徹底と服務規律の遵守を徹底する 詳細な監査を実施する
	2. 会員の福利厚生を適切に対応する	1) 災害・慶弔時の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護連盟内規並びに県連盟規約に基づき、災害見舞・慶弔へ対応する
	3. 災害時その他の諸問題に適切に対処する	1) 会員の安全対策 2) 本部や専門家と連携した迅速な問題解決	<ul style="list-style-type: none"> 災害時等、緊急時の連絡や情報提供を円滑にできるように県及び支部役員の連絡網を整備する 災害見舞や支援金等に関する情報を適切に会員に提供する コンプライアンスに基づく活動のための情報を提供する 本部や専門家等と連携を密にし、適切に対処する

2020年度役員・支部長ご挨拶



第一副会長OB部
部 長
吉岡批呂子

会員の皆様、日ごろは連盟活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。ご挨拶です。

徳島県看護連盟は現在、7支部（徳島、小松島、阿南美波、鳴門、阿波、吉野川、美馬三好）と1部（青年部）で活動を行っていますが、今年度より青年部に加えてOB部が発足することになりました。これまで1年に1回実施してきましたOB研修は、今後、OB部が担当することになり今年度は11月を予定しております。新型コロナウイルス感染が収束しない中、皆さんが安心して楽しめるような集いを目指し、準備をしていきたいと考えています。

さて、OB部の役割とは、看護職OBの個人力（資格、特技、経験、人脈等）を活かし、自身のできる範囲で、ゆるやかに継続的に行う活動を結集した後方支援だと思えます。

突然、発症した新型コロナウイルス対応に疲弊している看護職が再び、元気と意欲を取り戻す。また、私たち自身が元気なシニアを続けるためにも、看護職OBの力が必要です。

気兼ねなくワイワイ活動できる部を目指しています。



第二副会長
川西 誠子

2020年度より、第2副会長を務めさせていただくことになりました、川西誠子です。今まで看護連盟の会員として、通常総会、各研修に参加させていただいていましたが、役員として連盟活動の実際に関わらせていただくこととなり、大変緊張しております。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、医療・看護は新たな危機に直面していると思われます。さらに九州、各地での豪雨災害が起こり被災地では多くの方が健康被害を受けています。このような社会情勢の中でも、看護の力は人々を健康に導き、健康な社会づくりのために必要不可欠です。看護職が安心して働けるようにするために現場の声を届けられるよう、連盟役員の一員として、1人でも多くの人に連盟の役割と活動を理解してもらえよう努めたいと思います。微力ではございますが、諸先輩方にご指導を賜りながら活動に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



幹事長
藤本由紀子

この度、幹事長を務めさせて頂くことになりました。日増しにその重責を感じています。

日々新型コロナウイルス感染対策や豪雨災害対策など懸命に取り組む看護職の方々に尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです。

それぞれの立場で働いている大勢の看護職の方々にサポートするために、徳島県看護連盟は行政や地方議員に働きかけています。今後私もその一翼を担えるように精進し、皆様のご指導をいただきながら力を尽くしていきたいと思っております。

「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」

看護連盟は、あなたの生活が明日から変わるために、あなたの声を届けます！

今後ともご支援ご協力をお願いいたします。



財政部長
徳島支部支部長
木内 和江

支部長として今年で6年目を迎え、過去2回の参議院選挙で、高階恵美子議員、石田昌宏議員再選に向けての活動を経験しました。看護連盟は政治活動を行う組織ですが、政治は私たちの日常生活や看護の現場に密接に関係しています。山積する看護問題を解決するためには、現場の声を政治の場、国会に届ける看護職代表の国会議員が必要です。労働条件の改善や法律の制定・改正など、代表議員による多くの実績が、確実に安全・安心で働きやすい職場環境につながっていることを、支部研修や日々の活動の中で伝えていきたいと思っております。

現在、徳島支部は会員数203名（令和2年6月末）で、支部役員、施設幹事合わせて14名で活動しています。組織の充実・強化において中核となる会員の増加対策は重要であり、支部の活動目標には毎年継続して会員数（新規加入者・再加入者）の増加をあげ、取り組んでいます。しかし、会員増加に直結する対策は少なく、引き続き日々の地道な勧誘活動や情報提供を丁寧に行っていきたいと思っております。

また、会員確保対策として、会員在籍施設を中心に施設訪問を実施してきましたが、本年度は対象先を在籍会員がいない施設にも拡大し、看護連盟活動への理解と協力をお願いしたいと考えています。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、支部活動にも制限があり、施設訪問も実施できていないのが現状です。

今後状況を見ながら、支部研修の実施も含め、支部目標達成に向けて努力していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



幹事
宮本小由里

徳島県看護連盟創立60周年を迎えるにあたり、今日があるのは諸先輩方並びに会員の皆様方が長年、連盟活動にご尽力された賜物であり、心から敬意を表します。

徳島県看護連盟幹事として携わり3年目となります。看護連盟の使命のもと、「看護職代表議員を国会に継続して送る」等の活動をして参りました。活動を通して、連盟活動の重要性を再認識すると同時に、その活動について理解を得ることの難しさを感じます。

看護基礎教育制度改革や地域包括ケアにおける看護提供体制の構築、働き方改革や役割拡大の推進等、看護協会が提言する看護政策実現のために看護連盟が活動しております。

政治活動を支援することが、看護を取り巻く環境の改善につながると実感して頂けるよう、今後も微力ながら看護職の未来、看護連盟の発展のために力を尽くして参りたい所存です。



幹事
佐藤 民江

創立60周年の大きな節目に立ち会えたこと、会員の一人として大変うれしく感じています。

幹事になって3年目、幹事としての仕事の糸口を見つけられないまま、役割の難しさを痛感しているところです。

また、新型コロナウイルスという悪夢のような今日、幹事として一層活動に困難を感じています。しかしながら我々看護職が、今だからこそ試される時でもあるかと自分自身を奮い立たせている状況です。

今年も、政策に関する活動はもとより、会員確保の問題、病院訪問の問題、研修開催の課題などを解決していかなければなりません。青年部が活躍したり、OB部が旗揚げするといった明るいニュースもあり、期待できる予感です。60年という長い年月、多くの先輩たちがかかわってきた歴史の中で積み重ねてきた大きな財産をこれからもますます発展させ、ともに守っていかなければならないと、そんな思いでいっぱいです。

できることならこの栄えある60周年記念を新型コロナウイルスなどに邪魔されず迎えることができたら…などと少し余分なことまで考えてしまいました。



監事
渡川 明子

米エール大学助教授 成田悠輔氏は7月23日徳島新聞「新型コロナと文明」の中で、免疫と共同体の語源に触れた後、「この語源遊びは私たちにささやく。免疫の壁を飛び越えて人間の共同体が作り出す感染は、終息することなどないのだと。ウイルスも人間もグチャグチャに一体になって交換、交尾、交流するこの社会にとって、うつしてしまうかもしれない、うつされてしまうかもしれないことは初めから刻み込まれた宿命である。」と述べています。

徳島県看護連盟創立60周年を迎えた今年、看護職にとって最も過酷で危険であり、しかしながらその力が大いに期待され、感謝されている時期だと言えます。多くの看護職の方々は高い倫理観と使命感をもって日夜患者さんのケアに当たっておられることでしょう。このような現状の中で看護職を守るための方策は政治の力なくしてなし得ません。看護職を守ることはひいては国民の命を守ることだと今回の感染を通して実感しています。看護職の代表が国会にいることは、私たち看護職の支えであり希望であり、正義の実践を可能にしてくれます。看護連盟の存在価値はここにあると私は思います。



監事
祖父江定子

看護連盟創立60周年おめでとうございます。
節目の時に役員をさせていただく機会を得て感謝申し上げます。
平成29年度より幹事長として3年間努め、今年度から監事をさせていただくことになりました。
連盟役員の皆様には、ご指導やご協力をいただき務めあげることができました。感謝しています。
連盟活動を通して、日頃お目にかかれなような数多くの方との出会いに恵まれ、また、貴重な経験をする事ができ、視野を広め自己研鑽の機会を得ることができました。
看護職の代表を国政に送り出すことの必要性について、会員の皆様へ認識してもらい、政治の場で現場の課題を解決していただくことがいかに大切であるかを痛感しました。より看護連盟の会員の増加に向けて働きかけが必要であると思います。
今後も、連盟役員と共に今までの経験を活かし頑張っていこうと思います。よろしくお祈りいたします。



美馬・三好支部長
宮成みどり

看護連盟創立60周年記念を迎えおめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。
又、看護連盟を支えて来られた役員・連盟会員の皆様へ心より感謝申し上げます。
日本看護連盟は1959年10月15日に設立し、社会情勢に応じた数々の看護問題を国政に届け、現在の看護環境に至っています。私は、昨年度より引き続き、諸先輩の方々や連盟会員の皆様に支えられ支部長とし活動していますが、看護環境問題は国政に届けなければ何も変わらないことを実感しています。今年度の医療現場は、COVID-19がいまだに収束せず緊迫した状況で心的ストレスが多い中、細心の注意を払い、皆様業務されていることと察します。そのような方々へ看護連盟は国政に慰労金の受給を申請致しました。皆様の手元に届いてますでしょうか？まだまだ、看護環境を取り巻く困りごとが沢山あると思います。看護連盟の新スローガン「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」を掲げ皆様の声を国政に届けるよう活動してまいりますのでご協力宜しくお祈りいたします。



阿波支部長
中山 元己

この度、阿波支部の支部長をさせていただく事となりました中山と申します。
今年度、阿波支部では、学習会として基礎研修を兼ね「看護連盟を理解する」また、リフレッシュ研修として「3B体操」を計画しております。支部での役員会や学習会、研修会等を通して、会員ひとりひとりに看護連盟活動の必要性や、私達看護職の代表である国会議員の方々の活動内容の重要性について理解を深めてもらうよう働きかけていきたいと思っております。そして、看護職の働く労働環境をより良いものにしていくという強い信念を持ち、支部全体が一致団結し、会員増に向けて取り組んでいきたいと思っております。看護連盟の諸先輩方や他支部の方々のご指導、ご協力を頂きながら支部長としての役割が果たせるよう努めてまいりたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお祈り致します。



吉野川支部 支部長
木島 美香

この度、吉野川支部 支部長をさせていただくことになりました木島美香です。前支部長の山形さんは支部長として会員数増加、支部活動などを精力的にこなされてきました。私はそれらを会計として支えてきたわけですが、見ると自分が実際に支部長を引き受けてやるのは大きな違いがあり、役割を果たせるだろうかと戸惑っています。また、看護連盟創立60周年記念の年でもあるため、役割を果たすべく精一杯励むつもりではありますが、なにぶん初めてな事ばかりで、至らない点も多々あるかとは思いますが、役員の皆様のご指導、ご鞭撻を頂き頑張ります。

さて、毎回議題になる会員数減少ですが、吉野川支部も会員減少しております。今後の看護連盟を考えれば20歳代、30歳代の会員増加は必須と考えますので、20、30歳代の会員数増加を積極的に目指しています。皆様のご協力をお願いし、私の挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。



鳴門支部 支部長
三好 節子

徳島県看護連盟創立60周年おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大（対応）の中、お仕事されている皆様お疲れ様です。感謝申し上げます。

日頃は、看護連盟活動にご協力いただきありがとうございます。

鳴門支部は、現在会員数86名で、昨年度より減少しています。

会員数の年々減少に対し、会員増を活動目標にしていますが、なかなか目に見える成果が出ていないのが現状です。力不足を感じています。

今年度も支部研修会（基礎研修、一般研修）を計画しています。新型コロナウイルス感染拡大防止対策時期にて、支部役員会、施設訪問等自粛していますが、防止対策を取りながら、徐々に開始して行きたいと思っています。看護連盟について、再度ご理解をいただき、一人でも多くの方に入会、継続をしていただけるように、役員、会員の方々、よろしくお願いいたします。



小松島支部 支部長
中野 顕作

この度、小松島支部長をさせて頂く事になりました。

現在、小松島支部は9施設で会員数が192名です。支部長として会員の方々と各種研修会を通じて、交流を深め組織強化を図って参りたいと考えています。

また、新型コロナウイルス感染症の蔓延により各看護現場においても感染対策等多くの課題が山積している事だと思えます。このような時だから、看護職代表である4名の国会議員の方々へ現場の声を届け、日本看護連盟のスローガンにある「届けよう看護の声を！ 私たちの未来へ」が実践できるよう、微力ではありますが責務を果たしたいと考えています。私自身の勉強不足でご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、一人でも多くの看護師が看護連盟に関心を持ち入会していただけるよう、活動して参りたいと思います。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。



阿南・美波支部長
川下佳代子

阿南第1支部と阿南第2支部が統合し「阿南・美波支部」としての活動が始まり、同じく支部長として活動を始めてから2年目を迎えました。支部長になるまでは、看護連盟の必要性は理解していたものの、役割や意義を深く考えることなく活動に参加していたように思います。看護職が自分の仕事に夢や誇りを持ち、イキイキと働き続けられる職場を作っていくためには、1人ひとりの努力だけでは限界があります。現場の課題を解決するためには、国政の場に看護職を送り「現場の声」を届けるしかないと感じています。

会員数の減少という現実を考えると「誰かがやってくれる」という他力本願の風潮は否めませんが、看護に関する問題は看護職自らが解決していくしかありません。支部長として活動する中で「組織の力」を感じる事が多くあり、その強化は必須だと改めて感じています。1人でも多くの人に看護連盟の役割を理解してもらい、連盟活動に関心を持ってもらえるように頑張っていきたいと思っています。



青年部 部長
中浦 眞美

青年部部長をさせていただいている中浦です。今年はコロナウイルスの影響で、青年部でも集まらない状況が続き、計画が思うように実行に移すことができませんでした。新旧交代もあり、青年部は5人からスタートします。新役員を1名迎え、皆で協力し合い、意見を出し合いながら、青年部役員の確保、各支部若者へ連盟について説明し、協力・参加していただけるよう努力していきたいと思っています。

さらに中・四国青年部で行われているブロック会議の担当県が来年は徳島県です。初めての経験で不安もありますが、他県のアドバイスを受け、中・四国青年部との繋がりを深め、有意義な会にできるよう役員とともに頑張っていきたいと思っています。よろしくをお願いします。



藤本由紀子

私は55歳ころグラスリッチェンに巡り会いました。グラスリッチェンはヨーロッパから広まったガラス工芸のことで、ダイヤモンド粉末の付いた針で様々なデザインをグラスなどに手彫りします。ガラスに傷をつけた跡が白くなるので、墨絵とは逆の陰影が出ます。最近はアクリルアートも指導してもらっています。

現在は、繊細で大胆なアートの世界に魅了されて

います。作品の一つ一つに愛着が沸き、ものづくりの楽しさを実感しています。看護を掘り下げることが大切ですが、ちょっと一息ブレイクでガラスをゴリゴリ彫っています。頭も手先も使うので認知症予防に最適です。



永尾病院の現況についてお知らせします。

美馬・三好支部幹事長 郡 たか子

新型コロナウイルス感染発生により、世界中が緊急事態になっています。当院は感染症受け入れ病院ではないですが、コロナの影響により患者さんの薬の処方日数を増やし受診回数を軽減したり発熱のある患者さんに対しては電話での受付けにて車で待機をお願いしています。マスクや消毒液については備蓄がありますが、これからの事を考慮し少しずつ補充をしている状況です。こんな時期だからこそ職員一人一人が自覚と責任を持って行動する事が大切であると思います。院内では、手洗いやアルコール消毒の徹底と3密にならないように注意しています。入院患者様の家族の面会に対してはマスク着用し検温・手洗い・アルコール消毒を徹底してもらい1回/W、15分程度とし、県外からの面会は中止とし面会の限定をさせていただいております。

そんな状況の中で、当院の理学療法士スタッフが、受付に“疫病退散にご利益があるという”アマビエという妖怪人形を作って飾っています。外来患者さんに「この人形何？」とよく尋ねられるので、「人々が病に立ち向かい勇気づけあうための象徴だって。」と説明しています。また、興味のある方にはアマビエのマスコット人形を差し上げています。

一日も早くコロナが終息し以前のような生活が送れることを願っています。皆さん、健康に注意し、栄養と休息をとって頑張りましょう。

最前線で働いている医療従事者の方々には心より感謝いたします。



1

【シリーズ 私の自慢】への投稿をお待ちしております。

徳島県看護連盟は年間2回連盟だよりを発行しております。その中で、会員の皆様から私の自慢シリーズを掲載させていただいております。マイペットやマイホビー、最近始めたこと等、何でもOKです。写真と共に400字程度の説明を入れてお送りください。

送り先は、

〒770-0801 徳島市上助任町三本松 375-5 青藍コーポ 301号

メール：kan-ren-toku-1@bz04.plala.or.jp

看護連盟からのお知らせ

2020年度連盟会員募集中

看護連盟は、現場の課題解決のためにあなたの声を政策の場に届けています。今回の COVID-19 対策や豪雨災害対策など現場の声を届けて、危険手当や慰労金の獲得等につながっています。あなたの声を届けることで、現場が変わります。

ぜひ
ご入会ください!

正会員・・・公益社団法人日本看護協会会員である人

年会費 8000 円

(日本看護連盟費 5000 円、徳島県看護連盟費 3000 円)

特別会員・・・正会員の経歴を有し、現在は未就業で看護協会会員でない人

年会費 8000 円

(日本看護連盟費 5000 円、徳島県看護連盟費 3000 円)

賛助会員・・・看護連盟の趣旨に賛同する人 (看護職でなくてもよい)

一口 1000 円 (何口でも可)

学生会員・・・連盟の趣旨に賛同する看護学生 会費無料

お問い合わせ先

徳島県看護連盟事務局

TEL: 088-634-3297

FAX: 088-634-3298

メールアドレス: kan-ren-toku-1@bz04.plala.or.jp

東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

◆こんなお悩みはありませんか？

- ・夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。



◆睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーを開催し、職場の問題解決のお手伝いをさせていただいております。

* 研修内容及び研修時間はご相談に応じさせていただきます。

良質な睡眠は、健康で充実した
毎日を過ごす基本です！

TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社
香川営業所 ☎ 0120-301507

お気軽にお問い合わせください

〒761-0301 香川県高松市林町 2518-7 www.toyoumo.co.jp

編集後記

今回は、徳島県看護連盟創立60周年にあたり特別号として掲載しました。ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化するなか、医療従事者の皆様に心より敬意を表し感謝申し上げます。

会員の皆様、今後とも連盟活動にご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

(広報担当:祖父江・吉岡・藤本・中山・中浦)

ちょこっとクイズの答えは
「みょうがの花」だよ!



「物忘れがひどくなる」というのは迷信。夏にぴったりの大人の味の薬味だよ。刻んでそうめんや冷ややっこの上にのせたり、そのままで甘酢漬けにしてもおいしいよ。

(by小島)